

作成日 2012年 5月18日

改定日 2015年10月9日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|----------|--------------------|
| 化学物質等の名称 | ショーコール88 |
| 会社名 | 小厚化成株式会社 |
| 住所 | 大阪市浪速区恵美須西2丁目9番13号 |
| 担当部門 | 管理部 品質管理課 |
| 電話番号 | 06-6643-2100 |
| 緊急時の電話番号 | 06-6643-2100 |
| FAX番号 | 06-6643-2104 |
| 整理番号 | K-011 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|----------------|---------|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 | 区分2 |
| 健康に対する有害性 | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激 | 区分2 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分1 |
| | 生殖毒性 | 区分1 |
| | 特定標的臓器毒性・全身毒性 | 区分3 |
| | 特定標的臓器毒性・全身毒性 | 区分1(肝臓) |
| | | 区分2(神経) |

上記で記載のない危険有害性は分類対象外、分類できない、または区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
引火性の高い液体及び蒸気、強い眼刺激、遺伝性疾患のおそれ、生殖能又は胎児への悪影響のおそれ、呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ、長期または反復暴露による肝臓の障害、長期または反復暴露による神経の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】
取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【救急措置】
目に入った場合や飲み込んだ場合には、医師の診断を受けること。
引火しやすい液体、蒸気は空気と一定量混合すると爆発性ガスとなる。
工業的には比較的無害の溶剤とみなされるが、蒸気を吸入すると麻酔剤として働き、繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍磨、頭痛などを起こす。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質

| | |
|--------------|------------------------------------|
| 単一製品・混合物の区分 | 混合物 |
| 成分 | エタノール、グリセリン脂肪酸エステル、乳酸ナトリウム、グリシン、香料 |
| 濃度 | 主成分 エタノール83.15w/w% |
| 主成分エタノールについて | |
| 化学式または構造式 | C2H5OH |
| 国連分類 | クラス3(引火性液体類) |
| 国連番号 | 1170 |
| CAS No. | 64-17-5 |
| 官報公示整理番号 | 2-202(化審法) |

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに患者を新鮮な空気のある場所に移動し、安静にする。必要に応じて医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

刺激を感じた場合は水で洗い流す。

| | |
|--|---|
| <p>目に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合 最も重要な兆候及び症状 応急措置をする者の保護 医師に対する特別注意事項</p> | <p>直ちに多量の水で水道水で15分以上洗い流し、必要に応じて医師の手当てを受けること。</p> <p>水、牛乳または生卵を飲ませて、医師の手当てを受ける。 データなし 適切な保護具を着用する。 データなし</p> |
| <p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤 特有の危険有害性 消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p> | <p>水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡(耐アルコール泡) 少量の水での消火は、火災を拡大させる恐れがある。 初期火災には大量の水を噴霧、又は上記の消火剤等による消火を行う。 大規模火災発生時は大量の水を噴霧、又は泡消火剤等による空気遮断にて消火を行う。 防災耐熱性保護具、マスク等</p> |
| <p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具および緊急措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>二次災害の防止策</p> | <p>作業者は適切な保護具を着用し、眼・皮膚への接触及び吸入を避ける。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。</p> <p>関係者以外の立入りを禁止する。 少量の場合は、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。</p> <p>大量の場合は、漏出液を密閉式の空容器できるだけ回収し、回収できなかった場所へは大量の水で洗い流す。 浸透性および揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。</p> |
| <p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p> <p>保管</p> | <p>局所排気及び全体排気設備を設ける。保護具を着用する。 火気に近づけない。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼・皮膚・衣類への接触を避けること。 移し替える場合、専用の容器にその品名と注意事項を明記する。 キャップを開けると液が飛び出す恐れがある。また、容器を移動する時はキャップをしっかり締める。緩んでいると液が飛び跳ねて眼や皮膚につく恐れがある。 直射日光の当たらない温度の低いところに、密栓し保管する。 子供の手の届くところに置かない。 倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。</p> |
| <p>8. ばく露防止及び保護措置</p> <p>管理濃度 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)</p> <p>日本産衛学会(2005年版) ACGIH(2005年版)</p> <p>設備対策</p> <p>保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p> <p>主成分エタノール100%としての参考値</p> <p>管理濃度 許容濃度</p> <p>日本産衛学会(2009年) ACGIH(2009年)</p> | <p>設定されていない 設定されていない</p> <p>設定されていない 設定されていない</p> <p>取扱いは火気のない換気の良い場所で行う。 照明設備は防爆型の物を使用する。</p> <p>適切な呼吸器保護具を着用する。 適切な保護手袋を着用する。 適切な保護眼鏡を着用する。 適切な保護衣を着用する。</p> <p>設定されていない 該当せず STEL 1000 ppm</p> |
| <p>9. 物理的及び化学的性質</p> <p>物理的状態 外観 臭い pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点</p> | <p>殆ど無色透明液体 特有な香気を有す 7.5~7.9 データなし データなし データなし</p> |

| | |
|---------------|-------|
| 自然発火温度 | データなし |
| 燃焼性(固体、ガス) | データなし |
| 爆発範囲 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 蒸発速度(酢酸ブチル=1) | データなし |
| 比重(密度) | 約0.84 |
| オクタノール・水分係数 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度 | データなし |
| 粉じん爆発下限濃度 | データなし |
| 最小発火エネルギー | データなし |
| 体積抵抗率(導電率) | データなし |

主成分エタノール100%としての参考値

| | |
|------|---------------------------|
| 融点 | -114.5°C |
| 蒸気圧 | 5.878 kPa(44.1mmHg):20°C |
| 沸点 | 78.32°C |
| 引火点 | 13°C(密閉) |
| 発火点 | 439°C |
| 爆発限界 | 下限3.3vol%~上限19.0vol%(空气中) |
| 蒸気密度 | 1.59 |
| 溶解度 | 水によく溶ける |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---------------------------|
| 安定性 | 通常の取扱い条件においては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 火気その他発火源への接触、衝撃、高温を避けること。 |

11. 有害性情報

| | |
|----------------|-------|
| 急性毒性 | データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | データなし |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |

主成分エタノール100%としての参考値

| | |
|------------|---|
| 急性毒性 | 経口 ヒト LDLo(最小致死量) 1400mg/kg 経口 ラット LDLo(半数致死量) 7060mg/kg |
| 皮膚刺激性 | ラビット 400mg(解放) 症状(軽度) ラビット 500mg/24h 症状(重度) |
| 眼に対する重篤な刺激 | ラビット 100mg/24h 症状(中度) |

12. 環境影響情報

| | |
|------------|------|
| 水生生物に対する毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。 容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |
| 汚染容器及び包装 | |

14. 輸送上の注意

| | |
|-----------|--|
| 国際規制 国連分類 | 該当なし |
| 国内規制 | 消防法により第1類および第6類との混載禁止 |
| 特別安全対策 | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 |

- 15. 適用法令**
- 労働安全衛生法** 施行令 別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物
通知対象物質(No. 61)エタノール83.15w/w%含有
 - 化学物質管理促進法(PRTR法)** 該当しない
 - 航空法** 施行規則第194条 3 引火性液体
 - 毒物及び劇物取締法** 該当しない
 - 消防法** 危険物第4類アルコール類(エタノール) 水溶性・危険等級Ⅱ
 - 薬事法** 該当しない
 - 食品衛生法** 第2条 添加物
- 16. その他の情報**
- 参考文献** 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 化学工業日報(1992)
製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/list.html>
中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHSモデルM
SDS情報http://www.jaish.gr.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
 - 問合せ先** 小厚化成株式会社 TEL 06-6643-2100
 - 記載内容の取り扱い** 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。